

『邂逅の妙を思いて』 刊行のご案内

拝啓 初秋の候、皆様にはお元気にお過ごしのことと存じます。

聖光学院創立の1958年から18年間国語科教諭として教鞭を執られ、昨年10月19日に79歳で亡くなられた関脩先生の遺稿集『邂逅の妙を思いて』が10月に刊行されます。

内容は下記目次の通りです。302ページの読み応えのある遺稿集です。

随筆には聖光学院創設時の生徒との熱き触れ合いを綴った「ごっこの精神を忘れることなく」や、校歌の歌詞に込められた先生の思いを記した「聖光学院校歌作詞の思い出」があります。その他、この上ないご趣味であったクラシック音楽に関する随筆には新聞や雑誌の入選作もあり、先生の音楽に対する深い造詣も垣間見ることができます。

学習塾塾長時代の「箴言からの教え」は塾生に諭された格言の教えで、私達が聖光学院で学んだ古文・漢文の授業とも重なる内容です。

長編小説「幻鐘」は亡くなる3ヶ月前に書き終えた作品で、幼い頃の芝増上寺の鐘楼の思い出やその後旅先で出会った数々の寺院の鐘の印象を重ね合わせ、自らの理想の生き方を綴った遺言のような作品です。（奥さまのお言葉）

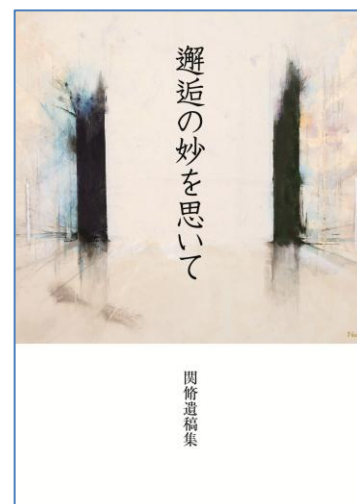
その他、見開きには懐かしい先生方との交流のスナップ写真や直筆の校歌の歌詞等が載せられています。

また、表紙カバーの絵は6期生の日本画家・山本直彰さんに作品を提供して頂きました。

関先生を偲ぶ一冊として、また、聖光学院時代を思い起こす一冊として、是非ご購入下さい。

具

敬



【購入金額】

一冊 2000 円

【購入方法】

校友会ホームページの [お知らせ](#)

「故・関脩先生遺稿集『邂逅の妙を思いて』刊行のお知らせ」の、「購入申し込み方法」からFAX又はEメールでお申し込み下さい。

申し込まれた方には振替用紙をお送りします。

入金が確認され次第、本をお送りします。

10月上旬より随時発送いたします。

なお、ご購入に関する問い合わせは

聖光学院校友会事務局（電話：045-621-2129）

までお願いします。

第一章	随筆	目次
	『一期一会』に思う事	
	音楽の至福	
	ザルツブルクの霧	
	ごっこの精神を失うことなく	
	聖光学院校歌作詞の思い出	
	アカデミアニュース巻頭言集	
第二章	箴言からの教え（遺された授業）	
第三章	長編小説「幻鐘」	
第四章	追悼文集「関脩先生の思い出」	
関脩年譜		
ごあいさつ	関 恒子	
編集後記		